

サテライト
シンポジウム

98 内視鏡スクリーニングの質の向上を目指して

～IEE/AIを活用した上・下部内視鏡スクリーニング～

消化器内視鏡診断におけるIEEの進歩は著しく、拾い上げから拡大内視鏡併用診断まで実臨床で多くのエビデンスが発信されています。富士フィルムは高出力LED光源搭載のELUXEOやAI技術を用いた内視鏡診断支援機能CAD EYEを、欧州を中心とした海外で先行発売し、その後国内でも販売開始しました。LCI-FIND trialをはじめとして、上部消化管腫瘍性病変のスクリーニングにLCIが有用であるとのエビデンスが発信されている中、下部消化管腫瘍性病変のスクリーニングのLCIの有用性についても多くのご施設から発表されています。本シンポジウムでは、ELUXEOを用いた上部・下部消化管領域のLCIスクリーニングについて、さらにはCAD EYEの使用経験について、エキスパートの先生方にご講演いただきます。

日時 2021年11月6日(土)17:30～19:30

会場 第8会場 ポートピアホテル
倍楽1+2

司会 東邦大学医療センター大森病院 消化器内科
松田 尚久 先生
川崎医科大学 消化管内科学教室
塩谷 昭子 先生

演者 姫路赤十字病院 消化器内科
堀 伸一郎 先生
大阪医療センター 消化器内科
山本 俊祐 先生
佐賀大学 光学医療診療部
下田 良 先生

会場 神戸国際展示場 1号館 兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目11-1
<http://kobe-cc.jp>

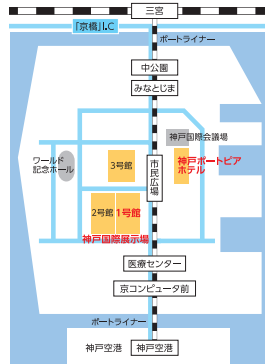
アクセス

>>> 電車でお越しの方

- ◆ ポートライナー神戸空港駅から ◆ 市民広場駅まで約10分
- ◆ 市民広場駅まで約8分 ◆ 市民広場駅から徒歩ですぐ
- ◆ ポートライナー三宮駅から

>>> 車でお越しの方

- ◆ 大阪方面より
阪神高速3号神戸線「生田川」ICより約5分
阪神高速5号湾岸線～ハーバーハイウェイ住吉浜インターにて乗り継ぎ～
住吉浜インター～ハーバーハイウェイ経由ポートアイランド降り口 約3分
- ◆ 岡山・姫路方面より
阪神高速3号神戸線「京橋」ICより約5分



疾患鑑別用内視鏡画像診断支援プログラム
内視鏡ビデオ画像プロセッサ
送気送水機能付外部電源式内視鏡用光源装置
送気送水機能付外部電源式内視鏡用光源装置
ビデオ軟性大腸鏡
ビデオ軟性大腸鏡
汎用超音波画像診断装置

販売名:内視鏡検査支援プログラム EW10-EC02
販売名:プロセッサ VP-7000
販売名:光源装置 LL-7000
販売名:光源装置 BL-7000
販売名:電子内視鏡 EC-760Z-V/M
販売名:電子内視鏡 EC-760XP/L
販売名:FWUシリーズ

承認番号:30200BZX00288000
届出番号:14B1X10022A0V014
認証番号:228AABZX00112000
認証番号:227AABZX00041000
認証番号:302AABZX00027000
認証番号:302AABZX00095000
認証番号:301ABBZX00003000

FUJIFILM

富士フィルムメディカル株式会社

〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士フィルム西麻布ビル
tel.03-6419-8045

<http://fms.fujifilm.co.jp>

FUJIFILM
Value from Innovation

第29回 日本消化器関連学会週間 富士フィルムブース のご案内

2021年11月4日(木)～11月6日(土)
神戸国際展示場 1号館

NEVER
STOP

医療のいちばん近くから、
次代を見つめる

消化器領域を網羅する富士フィルムの製品ラインアップをご覧ください

AI技術を活用し、
病変のリアルタイム検出・鑑別を
支援する内視鏡診断支援機能

CADEYE
Powered by **REiLi**

LASEREO
レーザー光源搭載内視鏡システム



ELUXEO
LED光源搭載内視鏡システム

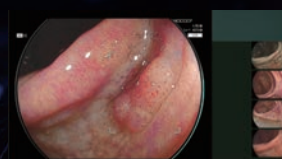


大腸内視鏡に新しいラインアップ
NEW ▶下部消化管用拡大スコープ[EC-760Z-V/M]
▶下部消化管用極細径スコープ[EC-760XP/L]

検出支援モード

白色光 **LCI**

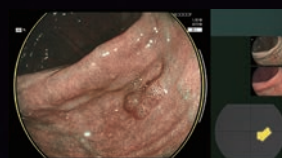
大腸ポリープの可能性
がある領域を検出し、そ
の結果を内視鏡画像に
重ねてリアルタイムにモ
ニターに表示。



鑑別支援モード

白色光 **BLI**

大腸ポリープが腫瘍性
または非腫瘍性である
可能性を推定し、リアル
タイムに推定結果をモ
ニターに表示。



Multi-Light Technology



レーザーやLED等の複数の光源を高精度に
制御するとともに、画像処理を組み合わせることで、
目的に応じた観察画像を作り出す。

内視鏡情報管理システム

NEXUS

JEDIに対応した内視鏡情報管理システム。

3D画像解析システム

ボリュームアナライザー **VINCENT**

診療精度の向上に貢献する統合3D解析アプリケーション。

超音波画像診断装置

NEW

iViz air

聴診器のように
超音波を持ち歩く時代へ



感
染
管
理

抗原検査キットや
アルコールスプレー&クロスなど
感染症対策製品もラインアップ

サテライト
シンポジウム

71 消化器内視鏡診療の最前線

～各種Modalityを使った診療の実際～

粘膜のわずかな色の違いを強調し診断をサポートするLCIは、上部・下部消化管領域においてもその有用性が多くのご施設から発表されています。また医療の現場では人工知能(AI)が多くの場面で登場するようになりました。本シンポジウムでは昨年10月「Annals of International Medicine」に掲載された多施設による無作為検討臨床試験(LCFIND trial)のサブ解析のひとつ「LCIを用いた経鼻(細径)内視鏡のスクリーニングにおける有用性」について、またLCIを用いた潰瘍性大腸炎に対する内視鏡的評価の有用性について、さらには、まだ実臨床での使用には至っていない内視鏡診療ワークフロー領域へのAIの可能性についてもお話をいただきます。LCIやAIなどのModalityが臨床現場でどのように役立っているのか、各分野のエキスパートの先生にご講演いただきます。

日時 2021年 11月4日(木) 17:30～19:30

会場 第2会場 神戸国際展示場2号館
ホール南

司会 佐賀大学 医学部 消化器内科
江崎 幹宏 先生
川崎医科大学 総合内科学2教室
春間 賢 先生

演者 東京医科歯科大学 消化管外科学
川田 研郎 先生

杏林大学医学部 消化器内科学教室
久松 理一 先生

**追加
発言** 川崎医科大学 総合内科学2教室
春間 賢 先生

福井大学学術研究院医学系部門 内科学(2)分野
中本 安成 先生

サテライト
シンポジウム

84 ダブルバルーン内視鏡が切り拓いた新たな内視鏡診療

～これまでの20年を振り返り将来を考える～

自治医科大学の山本博徳先生が開発されたダブルバルーン内視鏡(DBE)は、暗黒大陸といわれてきた小腸領域の内視鏡的診断・治療を可能にしました。DBEは2001年にプロトタイプが完成し、2003年11月に国内で販売を開始、登場から20年が経過しました。小腸領域の診断・治療を目的に開発されたDBEですが、その有用性が評価され、手術後腸吻合におけるERCP・治療、さらには大腸挿入困難例など多くの臨床現場で応用されています。海外約70施設、国内約450施設の先生方にご使用いただいているDBE。本シンポジウムでは、DBE登場当初から臨床現場でご使用いただいている先生方に、当時の臨床の実際から最新の知見まで、先達者ならではのお話をさせていただきます。

日時 2021年 11月5日(金) 17:30～19:30

会場 第6会場 ポートピアホテル
大輪田B

司会 日本医科大学
坂本 長逸 先生
札幌医科大学 医学部 消化器内科学講座
仲瀬 裕志 先生

演者 藤田医科大学 先端光学診療学講座
大宮 直木 先生

**基調
講演** 自治医科大学 内科学講座 消化器内科学部門
矢野 智則 先生

福岡大学医学部 消化器内科学講座
平井 郁仁 先生

**特別
発言** 自治医科大学
菅野 健太郎 先生

仙台厚生病院 消化器内科
松田 知己 先生

関西医科大学総合医療センター 消化器肝臓内科
島谷 昌明 先生